

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

＜教育方針＞ 豊かな情操と気品ある人格を育み、これからの社会を支える健全な精神を持つ若者を育成する。 「情操」とは、美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良いところに気づき、相手を敬うことができる力 「気品」とは、落ち着いた振舞い、優しい気持ちで人と接することのできる精神的な美しさ ＜夕陽丘教育の4つの柱＞ 1 自ら考え、行動できるように自主自律の心を育む学校 2 幅広い教養を身に付け、一人ひとりが自己実現を達成できる力を養う学校 3 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校 4 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校
--

2 中期的目標

■ 全ての教育活動に「自主・自律」、「グローバル」の観点を取り入れる。 ■ 3SK【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANNRI】で学力向上と働き方改革を推進する。
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む (1) 基本的生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。 ア 学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。 ※自己診断生徒 98% (R3:97.5%,R4:96.7%, R5:97.8%) イ 身近な事柄を通じて、他者理解や思いやりの心など豊かな人間性を身につける。 ※自己診断生徒 97% (R3:95.6%,R4:94.2%, R5:96.1%) ウ 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。 ※自己診断生徒 85% (R3:85.6%,R4:84.7%, R5:82.6%) (2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。 ア 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。 ※自己診断生徒 97% (R3:96.3%,R4:95.1%, R5:95.8%) イ 教育相談・支援体制を充実させるとともに、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。 ※自己診断生徒 87% (R3:87.0%,R4:85.8%, R5:86.6%) ウ 「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。 ※自己診断生徒 90% (R3:91.1%,R4:88.6%, R5:88.1%) エ 防犯・防災を含む危機管理体制、3SKを日常化し、安心安全な教育環境を整える。 ※自己診断生徒 90% (R3:90.4%,R4:88.9%, R5:88.4%)
2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う (1) 学習指導要領を踏まえ、カリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。 ア 総合的な探究の時間「夕陽学」を軸に、各教科・行事等の教育活動をつなぎ、学校における「協働」を実現する。 ※自己診断教員 87% (R3:88.3%,R4:86.3%, R5:84.2%) イ 学習指導要領を踏まえ、更なる授業の充実を図る。 ※自己診断教員 80% (R3:73.6%,R4:78.4%, R5:66.7%) ウ 1人1台端末を効果的に活用し、「主体的対話的な深い学び」の実現と授業改善につなげる。 ※自己診断教員 97% (R3:100%,R4:96.1%, R5:94.7%) エ 生徒の学習支援、自律的な学びを高める等のためにICT機器の活用を高める。 ※自己診断生徒 90% (R4:89.1%, R5:85.7%) (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。 ア 各学年の生徒に応じた進路の取り組みを行う。 ※自己診断生徒 90% (R3:90.9%,R4:91.4%,R5:86.2%) ※志望校決定率 70%以上 (R3:75.6%,R4:70%,R5:78.2%)、国公立・関西5私大(関関同立近大) 250名実合格 (R3:202,R4:209,R5:250) イ 3SKで学力向上と働き方改革を推進する。
3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する (1) 海外研修や授業等を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。 ア 海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。 イ グローバルに使える力として多様性・英語の4技能をバランスよく育成する。 ※英語学力調査のスコア 全国より15pt以上、英検等合格 40名 (R4:英語学力調査のスコア(本校/全国) 1年 67.8/48.3,2年 52.7/38、英検2級合格者 40名、R5:1年 62.2/48.5,2年末実施、英検2級合格者 25名) (2) 国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。 ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。 イ SDGsをテーマに、生徒の主体的な取り組み及び国際交流の活動(オンラインによる国際交流活動を含む。)を学校全体で計画的に行う。 ※自己診断生徒 80% (H30:89.6%,R1:93.6%,R2:72.8%,R3:75.3%,R4:79.4%,R5:79.5%)
4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する (1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。 イ 定期演奏会、地域での講演会等を企画・実現する。 (2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。 ア 校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。 (3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。 ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校等と交流を継続する。
5 広報活動の充実 (1) 上の1～4の中期的目標の成果を効果的に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和7年2月実施分〕				学校運営協議会からの意見																																											
学校生活をより充実したものとするため、生徒・保護者・教職員に対して、学校教育活動や取組みに関するアンケートを10月末から11月にかけて実施した。今年度も保護者の方からフォーム作成ツールで回答いただき、477名（昨年度608名）の方にご協力いただいた。昨年度よりは少なかった。保護者集会や学習支援クラウドサービス等で連絡を促したが、回答が少ない状況となった。 ○生徒に対する質問では、「学校行事ではクラス・学年・学校全体で協力して取り組んでいる。（97.6）」「学校行事は充実していて楽しい（96.4）」「友達関係がうまくいっている（94.7）」「学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。（96.4）」の項目の肯定的回答が高くなっている。一方で「部活動に積極的に取り組んでいる」の項目が89.6%と90%を下回っていた。 ○保護者の方の回答からは、「友達関係」「学校行事」「他にない特色」などの質問に対する肯定的回答が90%を超えている。学校行事のみならず普段の学校生活の様子など、子どもへの関心を高く持っていていただいているように思う。しかし、授業がわかりやすいとする項目においては昨年度よりも低く70%となった。1年生に関しては70%を下回っていたため授業アンケートの結果等を踏まえ、授業力向上に繋げていきたい。 ○教職員の回答結果は、「生徒が意欲を持って授業を受けるよう教え方に様々な工夫をしている」という質問に対して肯定的回答が96.2%である。しかし、生徒・保護者の授業に関する項目の結果と差があることも事実である。また、進路指導（-8pt）や国際交流（-10pt）、カリキュラムマネジメントにおける回答（-13pt）が昨年度より大きく下がっていた。 令和6年度学校教育自己診断 肯定的回答率の高い質問 <table><tr><th></th><th>質問項目</th><th>6年度</th><th>5年度</th></tr><tr><td rowspan="4">生徒</td><td>学校行事ではクラス・学年・学校全体で協力して取り組んでいる。</td><td>97.6</td><td>97.8</td></tr><tr><td>学校行事は充実していて楽しい。</td><td>96.4</td><td>96.8</td></tr><tr><td>学校での友達関係はうまくいっている。</td><td>94.7</td><td>96.1</td></tr><tr><td>学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。</td><td>96.4</td><td>95.8</td></tr><tr><td rowspan="3">保護者</td><td>体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている</td><td>98.3</td><td>98.8</td></tr><tr><td>学校での友達関係はうまくいっている。</td><td>93.9</td><td>92.9</td></tr><tr><td>この学校には、他の学校にない特色がある。</td><td>92.2</td><td>89.8</td></tr><tr><td rowspan="4">教職員</td><td>生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。</td><td>96.2</td><td>94.7</td></tr><tr><td>この学校には、他の学校にない特色がある。</td><td>96.2</td><td>94.7</td></tr><tr><td>学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるように、工夫・改善を行っている。</td><td>94.3</td><td>94.7</td></tr><tr><td>自治会活動で、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。</td><td>94.3</td><td>94.7</td></tr></table>					質問項目	6年度	5年度	生徒	学校行事ではクラス・学年・学校全体で協力して取り組んでいる。	97.6	97.8	学校行事は充実していて楽しい。	96.4	96.8	学校での友達関係はうまくいっている。	94.7	96.1	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。	96.4	95.8	保護者	体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている	98.3	98.8	学校での友達関係はうまくいっている。	93.9	92.9	この学校には、他の学校にない特色がある。	92.2	89.8	教職員	生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。	96.2	94.7	この学校には、他の学校にない特色がある。	96.2	94.7	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるように、工夫・改善を行っている。	94.3	94.7	自治会活動で、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	94.3	94.7	第1回報告（6月17日開催）以下の意見をいただいた。 ○令和5年度学校評価、令和6年度学校経営計画について ・中期的目標が設定されているが、計画目標の設定年数は決まっているのか疑問に思う。見直すタイミングとしての区切りが見えにくい。 ・4本柱となっている国際教育について、戦略としての存在感が薄いように感じる。 ・スクールポリシーに触れた目標・計画を立ててもよいのではないか。 ・大学等外部からの協力により、課題探究において充実した学習ができている。 ○入試について ・入試制度改革により、変化する可能性があり普通科も含めて入学生の確保が必要。受験者数など、学校としての目標をあげてもよいのかもしれない。 ・音楽科に関しては、サックス、ユーフォニアムの専攻を増やしたことによって今年度サックスが5名入学した。 ・昨年度より外部主催の学校説明会に積極的に参加するようになっている。 ・万博参加に向けての取組みなど、生徒が活躍していることをもっとアピールしてもよい。 ○その他（学校生活全般など） ・生徒の挨拶が素晴らしい。 ・自宅学習についての指導が必要である。 第2回報告（11月19日開催）以下の意見をいただいた。 ○学校教育自己診断の結果について ①（教職員）項目1：「日常的に話し合っている」について ・学年の壁があることやPC作業により会話が減っている。 ・他人の仕事に興味関心を示さない。もっと風通しのよい環境づくりが必要である。 ・教職員同士の声かけが大事。1人ではない安心感を持たせることが重要。 ②授業の充実性で教員と生徒とのギャップについて ・教員が生徒とコミュニケーションをとりながら把握することが大切である。 ・観点別評価が影響しているのではないかと考えられる。 ・授業アンケートの結果から興味関心は3.5以上であることから維持してほしい。 ○働き方について ・残業時間、ストレスチェックの結果から、改善が必要である。部活動指導員などできる限り支援を必要とする学校も増えている。 ・生徒の遅刻数減少やあいさつが増えているなど達成しているものを共有し、お互い認め合えるような職場環境を作っていくことも大切である。 ○国際交流について ・年間の実施回数や内容について、学校交流は年2～3回、留学生が6～8名、また海外修学旅行も実施していることを共有した。 第3回報告（令和7年2月7日開催） ○令和6年度学校評価、令和7年度学校経営計画について ・働き方改革について、会議の短時間化については何を指標とするか考えてほしい。 ・部活動大阪モデルについての取組みを進めるべきと考えるが、生徒の部活動に対する満足度との評価の整合性も考えるべき。 ・民間のコンサルタントの派遣で働き方改革を進めることも考えられる。 ・英検2級取得などは増えているか。また今後の指標としてどう考えているか。 ・井の中の蛙にならず、公立高校同士の横のつながりを持っていく工夫をしてほしい。 ・国立、公立、私立、様々な学校との交流で刺激をもてないか。生徒間の交流もよいのではないか。 <議決事項> 令和6年度学校評価、令和7年度学校経営計画			
	質問項目	6年度	5年度																																												
生徒	学校行事ではクラス・学年・学校全体で協力して取り組んでいる。	97.6	97.8																																												
	学校行事は充実していて楽しい。	96.4	96.8																																												
	学校での友達関係はうまくいっている。	94.7	96.1																																												
	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。	96.4	95.8																																												
保護者	体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている	98.3	98.8																																												
	学校での友達関係はうまくいっている。	93.9	92.9																																												
	この学校には、他の学校にない特色がある。	92.2	89.8																																												
教職員	生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。	96.2	94.7																																												
	この学校には、他の学校にない特色がある。	96.2	94.7																																												
	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるように、工夫・改善を行っている。	94.3	94.7																																												
	自治会活動で、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	94.3	94.7																																												

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 5 年度値]	自己評価
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む	(1) 基本的生活習慣の確立、学業等へ主体的・協働的に取り組む。	ア 基本的生活習慣を確立する。 ・あいさつ週間・遅刻週間の実施。	ア ・遅刻者数の減少 昨年度比 20%減 【1610】 ・生徒向け学校教育自己診断における「あいさつ」の肯定率 95%以上 【95.8%】	ア ・現遅刻数 2551 (×) ・96.4% (○)
	(2) 安心安全で温もりのある学校づくり	イ あらゆる教育活動において、人権感覚を育成する。 ・生徒向け人権学習の充実 ・教職員向け研修の実施 ・道德教育の充実を図る。 ウ 学生自治を基本とした学校行事等の実施 エ 地域等との交流活動を実施する。	イ ・人権学習等の事後アンケート肯定率 90%を維持 【98.0%】 ・教員向け学校教育自己診断における人権に関する項目の肯定率 90%を維持 【93.0%】 ウ ・生徒向け学校教育自己診断における学校行事に関する肯定率 90%を維持 【96.8%】 ・部活動に関する肯定率 85%を維持 【93.6%】 エ ・交流活動回数 3回以上【2回】 ア ・生徒向け学校教育自己診断における「先生に相談しやすい」の肯定率 80%を維持 【86.6%】 ・教員向け学校教育自己診断における教育相談関連の項目の肯定率 85%を維持 【89.5%】 イ ・生徒向け学校教育自己診断における「いじめ」に関する項目の肯定率 85%を維持 【90.0%】 ・実施内容、回数 【避難所訓練 1 回、校内点検 2 回】 ウ ・教員のストレスチェック（標準～低い） 60%以上 【新規】 ・残業時間 330 時間以下 【新規】	イ. ・肯定率 98% (◎) LHR, 講演、人権作文等実施 ・教員自己診断 89% (○) ウ ・96.4% (◎) 生徒主体の行事運営等 ・89.6% (○) エ 2 回 (○) ア ・87.3% (◎) 生徒支援取り組みの充実 ・86.8% (○) イ ・89.3% (○) ・避難所訓練 0 回、校内点検 2 回 (○) ウ ・71.7% (◎) 残業時間の削減努力 ・185 時間 (◎)
2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う	(1) カリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。	ア 学習指導要領を踏まえ、更なる授業の充実を図る。また、総合的な探究の時間「夕陽学」の充実を図る。	ア ・生徒向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 80%以上 【84.0%】 ・教員向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 90%を維持 【94.7%】 ・分掌・教科等の取組みに関する項目の肯定率 70% 【77.2%】 ・授業アンケート 平均 3.3 以上 【3.59】	ア ・85.4% (◎) わかりやすい授業努力 ・96.2% (◎) ICT 活用、教材研究努力 ・64.2% (△) 情報共有の強化必要 ・3.58 (○)
	(2) キャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。	イ 1 人 1 台端末を効果的に活用し、「主体的で対話的な深い学び」を充実する。 ICT を効果的に取り入れ、一斉、個別、協働学習の組み合わせにより、学びの深化を図る。 ウ 自律的な学びを高める。 エ 観点別評価の確実な実施に向けて更に研究する。 ※アからエの実現に組織的に取り組み、それぞれの授業改善につなげるとともに、カリキュラムマネジメントを生かして教科等の業務に取り組むことにより、働き方改革を推進する。	イ ・1 人 1 台端末等、ICT 活用に関するアンケート肯定率 85% 【85.7%】 ウ ・生徒向け学校教育自己診断における家庭学習に関する項目の肯定率 60%以上 【56.7%】 エ 校内教員研修の実施（教科・全体） ・LGH 公開授業 3 回 ・授業研究報告書の作成 1 人 1 発表 ・総合的探究における指導の研修 2 回 ア ・進路講座実施回数 6 回以上【8 回】 ・志望校決定率 70%以上 【79%】 ・国公立関西 5 私大（関関同立近大）250 名実合格【250】 ・生徒向け学校教育自己診断における進路に関する項目の肯定率 85%以上 【86.2%】	イ ・91.7% (◎) ICT 機器の活用浸透 ウ ・61.8% (○) エ ・8 回 (◎) 全教科で実施 ・冊子完成 (○) ・2 回 (○) ア ・8 回 (○) ・75% (◎) ・151 名 (×) ・85.0% (○)

府立夕陽丘高等学校

3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する	（１）多様性の理解と自身のキャリアデザインを考える。 （２）国内にいながらにして国際交流を体験できる様々な機会を提供する。	ア 海外修学旅行等を実施する。 イ 英語の４技能をバランスよく育成する。 ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、国際交流の機会を充実する。 姉妹校：クラークスタウン北高校（アメリカ・NY）、鳳新高級中学（台湾） イ 国際交流の活動（オンラインによる交流活動を含む。）を学校全体で計画的に行う。 ・SDGs をテーマとした講演会を実施	ア ・事後アンケートにおける満足度 90%を維持【97.0%】 イ ・英語学力調査のスコア（生徒の８割）：80%【86.0%】 ・英検２級合格者：40 名【25 名】 ・コミュニケーション英語の英語利用率：70%【75%】 ア ・生徒向け学校教育自己診断における国際交流に関する肯定率 85%以上【79.5%】 イ 交流活動の継続実施 ・訪問先受入校との事前事後の交流活動の継続実施【台湾高校生交流】 ・SDGs に係る取り組みや国際交流活動年３回実施【オーストラリア、インド、台湾２回 計４回】 ・国際交流に係る生徒の取り組み人数 200 人を維持【400 名】	ア ・98.6% (◎) 有意義な体験行事実施 イ ・75.0% (△) 今年度 GTEC に変更した数値に変更, 館換算値前は 76.2% ・19 名 (×) 校内実施がなくなったのでは全体の把握ができず ・75.0% (○) ア ・84.9% (○) イ ・板橋高校(台湾) (○) ・板橋高校(台湾) 仁川高校（韓国）、AIG 外交官交流(米) 計３回 (○) ・472 名 (◎) 学校全体として実施
4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する	（１）国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 （２）生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。 （３）国内及び海外の大学等と連携し交流を促進する	ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 イ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会を企画・実現する。 ア 校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。 ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。	ア 特別レッスン・公開講座の満足度 100%【100%】 イ 事後アンケートにおける満足度 100%【100%】 ア 校内、近隣ホール・小学校、地域での音楽会の実施回数 6 回以上【16 回】 ア 年間 6 回以上【7 回】	ア 100% (○) イ 100% (○) ア 15 回 (◎) JR 西日本, NHK 他近隣との協力体制 ア 7 回 (○)
5 広報活動の充実	（１）広報の在り方を検討する。	ア １～４の中期的目標の成果を効果的に発信 ・広報戦略を検討する。 ・学校説明会の実施（普通科・音楽科） ・「夕陽丘の風だより」の充実 ・夕陽丘マガジンの発行 ・動画等による広報発信 ・音楽科の広報発信の強化	ア ・広報戦略ワーキング 5 回【5 回】 ・学校説明会等の中学生、保護者の参加数 1600 名以上【1400 名】 ・動画配信 年 12 本以上【9 本】 ・夕陽丘マガジンの発行(隔月 1 回)【3 号配信】	ア ・5 回 (○) ・2600 名 (◎) 説明会数の増加努力 ・29 本 (◎) 生徒による作成 ・3 号配信 (○)